

平成29年度

名勝 小金井桜の会

総会議案書(承認版)

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 巻頭言ーこの一年を振り返って | 2ページ |
| 2. 平成28年度 会員の推移 | 3ページ |
| 3. 平成28年度 活動報告 | 4ページ |
| 4. 平成28年度 決算報告 | 5ページ |
| 5. 平成29年度 役員 | 8ページ |
| 6. 平成29年度 活動計画 | 9ページ |
| 7. 平成29年度 予算 | 11ページ |
| <参考資料> 名勝小金井桜の会 会則 | 12ページ |

平成29年5月20日

<http://koganeizakura.com/>

検索：名勝小金井桜の会

この一年を振り返って

名勝 小金井桜の会 会長 石田 精一

◎名勝小金井桜復活事業

平成26年に始まった小金井市の名勝小金井桜復活事業、関野橋～梶野橋間の補植計画が完了しました。今年の第3区150mの区間には武蔵野市域が含まれていますが、武蔵野市がこの事業に参加したことにより武蔵野市域も含めて高木の伐採、下拵え、苗の植栽が行われました。

この結果、モデル区間と合わせて新小金井橋～梶野橋間約1kmの小金井桜復活事業が完成したことになります。今後は整備工事完了区間の維持管理作業が適切に実行されて植栽された苗木が順調に生育するよう見守っていくとともに残された区間、特に小金井橋～新小金井橋間について、できるだけ速やかに事業が開始されることを強く要望してまいります。

◎育苗ファーム

関野町の杉山利男さんの献身的な育成活動を中心に会員が月1回のフィールドワークで除草作業などを実施しました。

今年は7年生苗を24本出荷したので残りは7年生苗1本と4～5年生苗が47本となりました。その補充として杉山さん提供の新しい苗43本と今年秋実施を予定している接ぎ木用の台木を植え付けました。

今後は毎年計画的に10～20本の接ぎ木苗の育成を行いたいと考えています。

◎落葉回収作戦

今年の落葉回収作戦は開始以来はじめて中止となりました。実施の3日前に降った近來にない11月の大雪がその後の低温で融雪が遅れ、落葉が水分を大量に含んだ状態となり落葉回収作戦の実行は不可能と判断しました。今回は早めに中止の判断ができたので作戦前日の午後に連絡を開始したため、ほとんどの参加団体に中止の連絡がいきわたりました。なお、当日は会場のさくら公園に担当者が出向き連絡漏れの来会者に対応しました。

私たちは玉川上水のヤマザクラ並木が名勝の名にふさわしい状態に整備されて、往時の名勝小金井桜が復活する日の到来を切望しています。今後の道も決して平坦なものではないと思いますが、会員一同心を合わせ、小金井市・東京都の関係部署との連携を密にし、協働してその目的の達成に努めたいと思います。

以上

平成28年度 会員の推移

	個人 会員		団体会員	顧問
	正会員	賛助会員		
平成28年4月7日現在	68名	4名	1団体	4名
平成28年度中の入会者 退会者	2名 12名	正会員へ2名		
平成29年4月1日現在	60名	2名	1団体	4名

平成29年度 会員名簿（敬称略 役員・あいうえお順 下線は28年度新入会員の方）

1	石田 精一	小金井市	31	黒坂 光喜	小金井市	61	渡邊 忠	小金井市
2	鏑山 英次	小金井市	32	小迫 邦彦	小金井市	62	渡邊 ふき子	小金井市
3	小沼 廣和	小金井市	33	小島 秀治	小金井市			
4	植竹 隆夫	小金井市	34	児島 寿美滋	小金井市			
5	村山 秀貴	小金井市	35	小林 正樹	小金井市			
6	宮川 和幸	小平市	36	小林 満	小金井市			
7	田嶋 清二	小金井市	37	斉藤 友克	小平市			
8	北村 佳代子	小金井市	38	<u>篠原 熙</u>	<u>小金井市</u>			
9	小迫 悦子	小金井市	39	下田 勤	小金井市			
10	岩間 博昭	小金井市	40	関 ハル	小金井市			
11	竹前 直子	小金井市	41	関根 優司	小金井市			
12	杉本 和子	小金井市	42	富山 日出夫	武蔵野市			
13	杉山 利男	小金井市	43	友森 真	小金井市			
14	池 和子	小金井市	44	中木 證蔵	府中市			
15	石井 悦子	小金井市	45	中原 修	国立市			
16	石井 洋子	小金井市	46	西岡 真一郎	小金井市	101	北上さくらの会	北上市
17	石田 いく子	小金井市	47	袴田 保男	小金井市	102	亀山 章	日野市
18	一万田 道敏	土浦市	48	萩野谷 トヨ子	小金井市	103	浅田 信行	新宿区
19	伊藤 正義	小金井市	49	橋田 英彦	小金井市	104	大石 学	武蔵野市
20	井上 征志	小金井市	50	林 茂夫	小金井市	105	和田 博幸	杉並区
21	岩井 一雄	練馬区	51	日並 洋一	小金井市			
22	岩間 明子	小金井市	52	日野 絵里子	小金井市			
23	上床 道子	小金井市	53	藤村 英明	小金井市			
24	漆原 博子	小金井市	54	三宅 章	小金井市			
25	遠藤 百合子	小金井市	55	持田 郁子	小金井市			
26	大濱 禎三	練馬区	56	八重樫 信治	北上市			
27	風間 裕一	西東京市	57	矢部 多貴	小金井市			
28	木村 基成	小金井市	58	<u>山崎 岳</u>	<u>足立区</u>			
29	草間 春子	小金井市	59	横井 喜美江	小金井市			
30	功刀 照子	小金井市	60	四元 克志	小金井市			

平成28年度 活動報告

- 4月 小金井桜開花調査（3月中旬～4月中旬）
お花見の宴(2日)
親子でお花見・スタンプラリーイベント（9日）
会報第6号発行（会員及びさくら基金応募者向け）（上旬）
- 5月 28年度年次総会（21日）
- 6月 第18回小金井桜写真展（3～5日）
- 7月 会報第7号発行（上旬）
都教育庁・小金井市との懇談会（7日）
カブトムシ相撲大会イベント（17日）
第15次樹勢調査（7月～8月 各ブロック毎に実施）
- 8月 小長久保公園ファームでの今後の苗木育成について市と協議（6～8月）
活動紹介パンフレット増刷
- 9月
- 10月 都教育庁・小金井市との28年度植栽計画等について打ち合わせ（3日）
会報第8号発行（上旬）
小金井市28年度小金井桜復活整備計画の住民説明会に出席（13日）
「小金井市なかよし市民まつり」に出店（15～16日）
ハロウィーンスタンプラリーイベント（23日）
- 11月 第14回落葉回収作戦（26日～中止）
- 12月 第24回玉川上水緑の保全事業連絡協議会に出席（19日）
- 1月 会報第9号発行（上旬）
- 2月 川崎平右衛門没後250年記念植樹及び式典開催を市に要請・協議（2～3月）
小長久保公園ファームからの苗木24本出荷（23日）
- 3月 小長久保公園ファームへ新規の苗木植付け（4日）
気仙沼大島「みらいの桜」PJ第4回現地植樹祭（12日）
法政大佐野研究室から小金井桜DNA研究の今年度成果聴取（23日）

註：アンダーラインの事項は、NPO法人小金井桜を復活する会との
協働・共催、又は後援

平成28年度 決算報告 (1/2)

平成28年度一般会計決算報告書

28.4.1~29.3.31

	科 目	予 算	決 算	対 予 算	摘 要
収入の部	前 期 繰 越	504	504	0	
	会 費	140,000	124,000	△ 16,000	28年度56 賛助会員2 29年度1 遅滞2(8,000)
	苗木出荷代	112,000	312,000	200,000	27年度112,000 28年度200,000
	事業収入	170,000	168,470	△ 1,530	お酒他156,550 ワカメ11,920
	雑収入	10,000	26,059	16,059	寄付20,559 お祝・募金他5,500
	預金利息	96	0	△ 96	付利なし
	計	432,600	631,033	198,433	
支出の部	事 業 費				
	写真展費用	13,000	12,275	△ 725	
	樹勢調査費	15,000	1,500	△ 13,500	
	落葉回収大作戦	35,000	24,927	△ 10,073	
	市民まつり支出	170,000	158,284	△ 11,716	
	育苗ファーム運営費	20,000	0	△ 20,000	
	ホームページ運営費	50,000	47,928	△ 2,072	
	会報発行費	52,000	46,781	△ 5,219	
	その他事業費		59,022	59,022	パンフレット印刷代 3,000部
	通 信 費	15,000	8,564	△ 6,436	総会・事業等 案内状 その他
	事 務 費	20,000	9,888	△ 10,112	インク 用紙代
	保 険 料	10,000	0	△ 10,000	28年度加入なし
	予 備 費	32,600	5,384	△ 27,216	振込手数料他
次 期 繰 越			256,480	256,480	
	計	432,600	631,033	198,433	

以上の通り報告します

平成29年5月6日

名勝 小金井桜の会

会長 石田精一



財務 田嶋清二



財務 北村佳代子



平成28年度決算報告を監査したところ適正に処理されていることを確認しました

平成29年5月6日

監事 岩間博昭



監事 竹前直子



平成28年度 決算報告 (2/2)

さくら基金報告書

28.4.1~29.3.31

収入の部		累 計			期中増減		
		件数	口数	金額	件数	口数	金額
	基金	145	274	2,788,950	2	39	165,000
	募金			54,052			0
	預金利息			330			3
	計			2,843,332			165,003
支出の部				2,325,322			0
残高				518,010			165,003

以上の通り報告します

平成29年5月 6 日

名勝 小金井桜の会

会長 石田精一

財務 田嶋清二

財務 北村佳代子



平成28年度決算報告を監査したところ適正に処理されていることを確認しました

平成29年5月6日

監事 岩間博昭

監事 竹前直子



平成29年度 役員

平成28年度 役員名簿

平成28年4月1日～平成29年3月31日

会長	石田 精一
副会長	鏑山 英次
副会長	小沼 廣和
事務局長	植竹 隆夫
事務局	村山 秀貴
事務局	日野 絵里子
財務	田嶋 清二
財務	北村 佳代子
総務	小迫 悦子
監事	岩間 博昭
監事	竹前 直子
苗木プロジェクト技術顧問	杉山 利男
広報(ホームページ担当)	杉本 和子
広報(会報担当)	岩間 博昭

.....

顧問(東京農工大名誉教授)	亀山 章
顧問(東京学芸大副学長)	大石 学
顧問(桜の会事務局長)	浅田 信行
顧問(花の会主任研究員)	和田 博幸

平成29年度 役員名簿(案)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

石田 精一
鏑山 英次
小沼 廣和
植竹 隆夫
宮川 和幸
—
田嶋 清二
北村 佳代子
小迫 悦子
岩間 博昭
竹前 直子
杉山 利男
杉本 和子
岩間 博昭

.....

亀山 章
大石 学
浅田 信行
和田 博幸

平成29年度 活動計画

定例会の開催（毎月）

- ・毎月第3土曜日午前10時から小金井市文化財センターで例会を行い、会の活動状況について“報連相”を行い、課題を討議し情報共有するとともに、名勝小金井桜の復活のため打合せる。
- ・毎月第1土曜日午前10時から「育苗ファーム」においてNPO法人小金井桜を復活する会と合同でフィールドワークを行う。あわせて役員会を開催し例会に先立ち必要事項を協議する。

名勝小金井桜 定期パトロール

- ・衰退が著しい既存の名勝小金井桜及び補植した桜苗木の現状につき、定期パトロールによりチェックしレポートにまとめ、適正な生育管理を行政と協働で行う。

名勝小金井桜復活の植樹に必要な苗木の育成事業

- ・玉川上水堤に名勝小金井桜後継樹を植樹するため、必要な苗木の育成、育苗ファームの運営を行う。今年からは「接ぎ木」技術の習得を目指し、杉山技術顧問の指導のもと台木作り・接ぎ木苗の栽培に取り組む。
- ・名勝小金井桜の復活に向けての植樹計画の立案を促すため、行政との連絡会の定期開催を強く働きかける。

さくら基金の募集

- ・厳しい財務状況にあることも踏まえ、名勝小金井桜「さくら基金」の広報活動を積極的に展開し、イベント時における募金活動を実施する。

第19回名勝小金井桜写真展の開催

- ・「みどりセンター祭り」に写真展として参加し、優秀作品を表彰して小金井桜の素晴らしさを内外にアピールする

第16次小金井桜の樹勢調査の実施（7月から8月）

- ・小金井桜の名勝指定区間の主要部について毎木樹勢調査を夏の時期に実施し、現在おかれている小金井桜の実態と近年の衰退状況の推移を明らかにして内外に発信する。
- ・なお今年も昨年同様、NPO法人東京樹木医プロジェクトの参加は要請しない。

小金井市「なかよし市民まつり」への参加

- 小金井公園で開催される『なかよし市民まつり』に出店し、会の活動についてアピールするとともに小金井桜にゆかりの物品販売を行い、活動費の一助とする。

第15回名勝小金井桜落葉回収作戦の開催（11月）

- ややもすれば近隣住民の迷惑物になっている玉川上水堤の落ち葉を、市内の小金井桜復活に賛同する各種団体と協力して回収する「落ち葉回収作戦」を主催することにより、清掃活動の実利とともに桜への関心が薄くなる晩秋に小金井桜及び当会のPRの一助とする。

会報の発行とホームページの充実

- 会員及びさくら基金への募金者間の情報共有に資するため、定期的（年4回季刊発行を目的）に会の活動状況を連絡する会報を発行する。
- 小金井桜の歴史と復活に向けての活動を対外的にアピールするため、ホームページの内容を充実させる。

学習会・懇談会・講座等の開催（適宜）

- 小金井桜の復活に向けて日本さくらの会・日本花の会等の協力を得て、桜に造詣の深い有識者を講師に迎え、学習会・講演会を行う。
- 市議会議員をはじめ各種団体役員との懇談会を開催し、小金井桜復活へ向けての理解と協力を図る。
- 一般都民を対象に小金井桜の歴史と再生に向けての講座・シンポジウムを開催し、会員の加入促進と啓発活動を行う。

NPO法人 小金井桜を復活する会主催行事への参画、支援（適宜）

- NPO法人小金井桜を復活する会が主催する各種行事のうち当会の活動主旨に沿うものについては、当会会員の行事参加を含め、積極的に支援して行く。

平成29年度 予算

一般会計 *1

【収入の部】

繰越金	256,480 円
会費	120,000 円（正会員：60名、賛助会員：2名）
苗木出荷代	80,000 円（10本分を想定）
事業収入	170,000 円（市民まつり売上げ *2）
雑収入	3,520 円
預金利息	0 円
合計	<u>630,000 円</u>

【支出の部】

事業費	小金井桜写真展	13,000 円
	樹勢調査	15,000 円（東京樹木医PJの費用見込まず）
	落葉回収作戦	20,000 円（昨年購入した用品を流用する分を減額）
	市民まつり	170,000 円（収支トントンと見込む *2）
	育苗ファーム運営費	20,000 円（育成管理費、活動補助費）
	ホームページ運営費	50,000 円（インターネット更新料、内容更新手数料 *3）
	会報発行費	52,000 円（13,000 円×4回 *4）
通信費		15,000 円（郵送料等）
事務費		20,000 円（印刷代等）
保険料		10,000 円（ボランティア保険等）
予備費		245,000 円
合計		<u>630,000 円</u>

(*1) 「さくら基金」については、寄付金という性格上そぐわないので昨年同様予算は策定せず、募金額に応じて基金の趣旨に合致した用途に（その都度、例会で承認を得た上で）用立てて行く。

(*2) 「市民まつり」の収支については、従来同様の出店計画を想定し、ここ2年の支出実績約16～17万円から17万円の支出と同額の売上げを計上した。

(*3) ホームページの内容更新については、昨年同様タイミングを選んでまとめて更新作業をしていただくこととし、手数料3万円を計上した。

(*4) 会報発行費は昨年実績見合いで計上した。

＜参考資料＞

めいしょう こがねいざくら 名勝 小金井桜の会会則

（名称）

第1条 本会は、名勝 小金井桜の会と称する。

（連絡場所）

第2条 本会の連絡場所は、事務局内（小金井市本町4丁目19-8）に置く。

（目的）

第3条 本会は、大正13年12月9日付で国の「史跡名勝天然記念物保存法」第1条の規定に基づき名勝に指定された、歴史的文化遺産である小金井サクラのヤマザクラ並木を次代に適切に継承することを目的とする。

更新のための植栽に当たっては、その歴史的背景である奈良県吉野及び茨城県桜川の後継樹・「小金井桜」の後継樹及び岩手県北上市展勝地公園のヤマザクラ「小金井」の後継樹に限定するとともに、「小金井桜」の保存や管理の方法を通して会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。

（活動）

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1 「小金井桜の復活」を実現するため、「史跡玉川上水整備活用計画」による東京都並びに小金井市、などとの協働
- 2 樹勢低下等により危機的現状にある「小金井桜」の維持・管理
- 3 後継樹の育成・更新のための植栽
- 4 玉川上水周辺の環境整備促進
- 5 定例会、部会の開催
- 6 特定プロジェクトの推進
- 7 「小金井桜」及び「玉川上水」に関する講演会・研究会・交流会の開催
- 8 市民への啓発及び関係団体との連携
- 9 その他本会の目的に沿った活動

（会員）

第5条 会員は、前条の目的に賛同する者をもって構成する。

会員は、会費として年額2,000円を納入しなければならない。また必要に応じて臨時徴取することができる。

会員は、会費の納入を2年続けて怠った場合、その翌年度から会員資格を失う。

（賛助会員・団体・顧問）

第6条 本会に、賛助会員、賛助団体、顧問を置くことができる。

賛助会員は、年額1口1,000円以上、賛助団体は、年額1口5,000円以上納入するものとする。

賛助会員は、会費の納入を2年続けて怠った場合、その翌年度から会員資格を失う。

（役員構成）

第7条 本会に、次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 副会長 若干名

- 3 事務局長 1名
- 4 事務局 2名以上
- 5 総務 2名以上
- 6 財務 2名以上
- 7 広報 2名以上
- 8 監事 2名

(役員を選出)

第8条 会長、副会長、事務局長、事務局、総務、財務、広報、監事は、総会において選任する

(役員職務)

第9条 役員職務は次のとおりとする。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐する
- 3 事務局は、会務の執行を総括し、事務局を分掌する。
- 4 総務は、事務局を補佐し、庶務全般を分掌する。
- 5 財務は、財務を統括し、会計事務を分掌する。
- 6 広報は、本会の広報全般を分掌する。
- 7 監事は、本会の会計を監査する。

(任期)

第10条 役員任期は、1年とし、再任を妨げない。

(運営)

第11条 本会は、年一回の総会と定例会を中心に運営する。その他、必要に応じて役員会、部会、実行委員会、ワーキンググループを開催する。

(会計)

第12条 本会の経理は、次のとおりとする。

- 1 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日で終わる。
- 2 運営の経費は、会員の会費およびその他の収入等をもって充てる。
- 3 会計年度終了後、監事により監査を受けたのち総会において会計報告を行う。

(施行細則)

第13条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改正)

第14条 本会則の改廃については、総会出席者の三分の二以上の賛成を要する。

付則

この会則は、平成19年6月16日から施行する。

付則

平成21年4月18日総会にて、第7条の役員数を〇〇名以上に改正。

平成21年4月18日総会にて、第12条の4「年額1〇1〇〇〇円以上」に改正。

平成22年4月10日総会にて；

第4条：項目順序を変更し、2項目「小金井桜の復活」を実現するため、・・・」及び「特定プロジェクトの推進」を追加、5項に「部会」を追加。

第6条：「顧問」を追加。

第7条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「庶務」を「総務」、「会計」を「財務」に名称変更。

第8条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「総務」「財務」に名称変更。

第9条：項目順序を変更し、6項「広報」を追加並びに4・5項は「総務」「財務」に名称変更。

第11条：「部会」「実行委員会」「ワーキンググループ」を追加。

平成26年5月17日総会にて、事務局長の交代が承認されたことに伴い、第2条の連絡場所住所を変更。

平成27年5月16日総会にて、大久保慎七氏の死去に伴い名誉会長職を廃止。

平成28年5月21日総会にて、第12条：3、4項目の会費納入規定を会員の義務条項として第5条、第6条に移し、合わせて会費納入を怠った場合の会員資格喪失規定を追加。